

ひのほら 議会だより

5

2017.5.1
No.149



「ドローン特区」を活用した実証実験（4月18日）

目 Contents 次

- P.2 | 予算特別委員会報告 平成29年度予算審議
- P.5 | 議案と議決結果
- P.7 | 委員会報告
- P.8 | 一般質問 8名 11問
- P.12 | 秋川流域議員大会

平成29年度 檜原村予算決まる

平成29年第1回定例会 (3月3日~24日)

平成29年度檜原村予算総額

(単位：千円)

区分	平成29年度予算	平成28年度予算	増減額	増減率 (%)
一般会計	3,593,000	3,395,000	198,000	5.8
特別会計	2,088,002	2,078,002	10,000	0.5

※一般会計予算額の中には、特別会計への繰入金745,009千円が含まれています。

予算特別委員会報告

■一般会計予算

対前年度比5.8%増額の35億9千300万円

国の経済は緩やかな回復基調が続いているものの、村の自主財源である村税は依然として低水準であり、今後も減少傾向が続くと見込まれています。主要な財源である地方交付税も人口減少による影響など現在の交付水準が維持される保証は無く、その他収入においても収入増が期待できない等、非常に厳しい状況が続いています。

委員からは定住・移住促進のための空き家対策の強化などの意見もありました。審議の結果、税収入をはじめ各種収入の確保、受益者負担の適正化等、財源の確保に努めること。さらに行財政改革を継続しつつ、村の住みやすさを高めるための少子高齢化対策。移住・定住促進のための空き家の活用と永住を目的とする住宅環境整備。エコツーリズムの推進に連動した観光基盤の整備など「森と清流を

蘇らせ未来に誇れる活力のある村づくり」を基本理念とした予算編成であると評価されました。

■国民健康保健特別会計予算

事業勘定予算

対前年度比47%増額の4億2千円

診療施設勘定

対前年度比14%減額の2億1千800万円

委員からは定住・移住促進のための空き家対策の強化などの意見もありました。審議の結果、税収入をはじめ各種収入の確保、受益者負担の適正化等、財源の確保に努めること。さらに行財政改革を継続しつつ、村の住みやすさを高めるための少子高齢化対策。移住・定住促進のための空き家の活用と永住を目的とする住宅環境整備。エコツーリズムの推進に連動した観光基盤の整備など「森と清流を

の強化により税率を据え置き、被保険者の負担を最小限に抑えた予算であると判断されました。

診療施設勘定予算について

は、「健康管理と福祉の充実で元気な村づくり」を目指し、診療や各種健診による住民の「かかりつけ医」としての役割を果たすためにも、医師の確保に努めるよう求める声が委員からありましたが、必要な予算であると判断されました。

■簡易水道特別会計予算

対前年度比33.5%増額の2億5千100万円

現在、北秋川水系の配水管の老朽化に伴う布設替工事を進めており、平成29年度も引き続き、安全で安心な飲料水を安定供給するための予算であると判断されました。

■東京都民の森管理運営事業特別会計予算

対前年度比25%増額の1億2千400万2千円

東京都から指定管理者の指定を受け、3年間管理運営を行い、



4期目の最終年度にあたる平成29年度については、「都民へのサービス向上」を基本方針に継続的な管理運営を実施しつつ、来園者のニーズを把握し、新規イベントの計画や自主事業の実施など、限られた予算の中で更なるサービス及び集客力の向上に努めていることが認められました。

■**下水道事業特別会計予算**
 対前年度比13.2%減額の4億6千600万円
 平成29年度の事業は、数馬地区における未整備部分など「総延長1360m、139ha」の汚水管布設工事が主な内容です。工事に伴う起債については、財政的に有利な辺地債を利用し、都道における曲がり管布設工法を積極的に採用するなど、工事費の軽減に努めていることが認められました。

■**介護保険特別会計予算**
 対前年度比17%増額の4億8千600万円
 高齢者の自立支援を支援し、可能な限り住み慣れた地域で生活を継続するために、介護、予

防、医療、住まいが一体的に提供される「地域包括ケアシステム」の構築が求められており、

■**後期高齢者医療特別会計予算**
 対前年度比9.7%減額の7千900万円
 広域連合納付金が支出の大部分を占めていますが、後期高齢者医療制度の安定的な運営のために必要な予算と判断されました。

以上、本特別委員会に付託されました案件8件は、それぞれ原案のとおり可決すべきものと決しました。

委員長 中村 賢次



このようなことを審議しました

平成29年第1回定例会

3月3日～3月24日の22日間、開催し、村長提出案件27件が提出され、すべてが原案どおり可決されました。

条例

議案第10号

檜原村職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例

議案第11号

檜原村職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例

(説明)

議案第10号、11号は育児休業法の改正によるものです。

議案第12号

檜原村営住宅条例の一部を改正する条例

(説明)

既存の村営住宅の使用料を引き下げる改正をします。

議案第13号

檜原村税賦課徴収条例等の一部を改正する条例

(説明)

地方税法の改正に伴うものです。

議案第14号

檜原村介護保険条例の一部を改正する条例

(説明)

議案第16号、17号は厚生労働省令の告示に伴う改正です。

補正額1億6千865万2千円を減額し、総額を37億391万円としました。

議案第18号

介護認定審査会委員の任期を条例で規定するものです。

議案第18号

檜原村ひとり親家庭の医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例

議案第22号

平成28年度檜原村国民健康保険特別会計補正予算

平成28年度檜原村介護保険特別会計補正予算(第4次)

(説明)

議案第15号

檜原村障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するため

議案第19号

檜原村子どもの医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例

診療施設勘定(第4次)

(説明)

議案第26号

委員の定数等を定める条例の一部を改正する条例

(説明)

議案第18号、19号は児童福祉法の改正に伴うものです。

診療施設勘定

補正額511万5千円を減額し、総額を4億2千206万1千円としました。

(説明)

補正額732万3千円を増額し、総額を5千505万6千円としました。

市町村審査会の委員の任期を条例で規定するものです。

議案第16号

檜原村指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

議案第20号

檜原村教育委員会委員の任命について

平成28年度檜原村簡易水道特別会計補正予算(第4次)

平成28年度檜原村後期高齢者医療特別会計補正予算(第2次)

(説明)

補正額271万1千円を減額し、総額を8千670万9千円としました。

教育委員の任期満了に伴い、

檜原村指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

補正額194万1千円を減額し、総額を2億391万7千円としました。

(説明)

補正額271万1千円を減額し、総額を8千670万9千円としました。

議案第17号

檜原村指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

議案第21号

平成28年度檜原村一般会計補正予算(第5次)

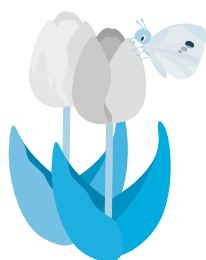
(説明)

補正額6千825万4千円を減額

人事

補正予算

その他



檜原村教育の森の指定管理者に「特定非営利活動法人フジの森」を引き続き指定するものです。

平成29年第1回定例会で審議された議案と議決結果

議長 森田ちづよ ○=賛成 ×=反対

区分	議案名		議員名								議決結果
			浜中 由造	中村 賢次	吉川 洋	峰岸 茂	清水 兵庫	山崎 源重	山口 和彦	清水 満男	
予算	第1号	平成29年度檜原村一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	第2号	平成29年度檜原村国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	第3号	平成29年度檜原村簡易水道特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	第4号	平成29年度檜原村東京都都民の森管理運営事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	第5号	平成29年度檜原村下水道事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	第6号	平成29年度檜原村介護保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	第7号	平成29年度檜原村介護サービス事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	第8号	平成29年度檜原村後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
その他	第9号	檜原村教育の森の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
条例	第10号	檜原村職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	第11号	檜原村職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	第12号	檜原村営住宅条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	第13号	檜原村税賦課徴収条例等の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	第14号	檜原村介護保険条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	第15号	檜原村障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に定める市町村審査会の委員の定数等を定める条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	第16号	檜原村指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	第17号	檜原村指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	第18号	檜原村ひとり親家庭の医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	第19号	檜原村子どもの医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
人事	第20号	檜原村教育委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
補正予算	第21号	平成28年度檜原村一般会計補正予算(第5次)	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	第22号	平成28年度檜原村国民健康保険特別会計補正予算(事業勘定第4次、診療施設勘定第4次)	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	第23号	平成28年度檜原村簡易水道特別会計補正予算(第4次)	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	第24号	平成28年度檜原村下水道事業特別会計補正予算(第3次)	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	第25号	平成28年度檜原村介護保険特別会計補正予算(第4次)	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	第26号	平成28年度檜原村介護サービス事業特別会計補正予算(第2次)	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	第27号	平成28年度檜原村後期高齢者医療特別会計補正予算(第2次)	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
陳情	第1号	介護保険制度の改善を求めた陳情書	○	○	○	○	○	○	○	○	採択
	第2号	精神障害者も心身障害者医療費助成制度(マル障)の対象とすることについての陳情書	○	○	○	○	○	○	○	○	採択
議員提出	第1号	地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書	○	○	×	○	○	○	○	○	可決
	第2号	介護保険制度の改善を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書

反対討論

吉川 洋

等をきちんと議論した上で再提出すべきであり、本意見書の提出に反対である。

賛成討論

山口 和彦

賛成討論

清水 兵庫

反対理由は、檜原村議員が厚生年金に加入すると村民の公費負担が年間約265万円発生すること。又、全国の地方議員の厚生年金加入による公費負担は年金で約200億、それから健康保険で約100億円毎年かかる。村民の方への十分な説明が無い中で、このような議員特権の意見書を出すのは問題である。

従来の年金は、特権であり優遇されているなどの批判が多くあった。理由は、この事ではなく廃止となり、専門議員は、国民年金で、一般の事業者と同じ扱いとなっている。その中で、厚生年金の加入となると掛金の負担部分は税金であり、住民にどう説明し理解を得るかが問題となる。しかし、日本全国で議員になる人が減少し、無投票が多くなっていると聞く。

議員になりたがらない理由は色々あるが、要は、たくさんリスクがあると思う。今後の檜原村のために少しでも若い人たちが議員になって活躍しやすくするのも、現時点で私たちの議員が行うのが役目ではないかと思う。

今回の意見書案には「住民の関心の低下や地方議員のなり手不足が大きな問題となっているので、地方議員の年金制度を時代にふさわしいものにするのが、議員を志す新たな人材確保につながる」と考える。」と書いてあるが、檜原村議会の過去や現在の選挙結果を遡って見ても檜原村には当てはまらな

い。よって、この地方議員の厚生年金加入制度については村の財政負担、それから村民の意向

の意見書を提出することに賛成の討論とする。

ご意見をいただきました

3月定例会において2件のご意見をいただきました。
 いただいたご意見は真摯に受けとめ、今後の議会運営の参考にさせていただきます。
 貴重なご意見ありがとうございました。

5月臨時議会のお知らせ (予定)
 5月10日 (水)

6月議会のお知らせ (予定)

- 定例会初日 6月 5日(月)
- 常任委員会 6月 8日(木)
- 6月 9日(金)
- 定例会最終日 6月16日(金)

各委員会報告

総務委員会報告

総務委員会は3月16日に開催し、2件の陳情について審議を行いました。

○陳情第1号 介護保険制度の改善を求めた陳情書

審査結果 採択

本陳情の趣旨は「必要な方が安心して介護が受けられる介護保険制度の改善には、国が財政面を含め責任を果たすことが極めて重要だとして、介護保険制度の改善を求める意見書を国に提出していただきたい。」とする内容です。

審査の結果、「介護保険制度にもっと国が力を入れてもらいたいし、財政支援もしてもらいたい」「現行の支援が維持できるように国が支援策を講じるべきと考える」「まず国がどういう姿勢でいるのが重要になってくると思うので賛成する」な

ど採択としたいとする趣旨の意見が全員からありました。

よって、挙手による採決の結果「採択とすべきもの」と決しました。

○陳情第2号 精神障害者も心身障害者医療費助成制度（マル障）の対象とすることについての陳情書

審査結果 採択

本陳情の趣旨は「現在、東京都の心身障害者医療費助成制度（マル障）の対象となっていない精神障害者を、対象にするように東京都に働きかけをして欲しい。」とする内容です。

審査の結果、「東京都議会の委員会でも全会一致で採択された。東京都の本議会の採決以前に、檜原村では本議会で採決が行われるので、都議会へ頑張っ

悪循環になる。だからこそ制度の対象にすべきと思う」「檜原村で賛同するという意思を見せることが、東京都の働きかけになるので賛成する」など採択と

したいとする趣旨の意見が全員からあり、挙手による採決の結果「採択とすべきもの」と決しました。

委員長 中村 賢次

産業建設委員会報告

産業建設委員会は3月17日に開催し、所管事務調査として2件の現地調査を行いました。

①平成28年度簡易水道配水管布設替工事

檜原村では北秋川水系の配水管の老朽化に伴う布設替工事を

平成20年度から実施しており、平成28年度は笹久保地区と小岩地区の約703mの布設替を実施し

ました。

新設する配水管には高密度ポリエチレン管が使用されており、従来の鋼管に比べて軽量のため施工がし易く、耐用年数が約40年あることなど説明がありました。

委員長 清水 満男



②平成28年度公共下水道汚水管布設工事

村の公共下水道工事は、平成

18年に供用が開始され、順次工事が行われてきました。



登壇8人 村政を問う

一般質問

12月議会の一般質問は11月28日に行われました。内容は、要約して受付順に掲載しています。

質問 ①平成29年度「都民の森」が自主事業という位置づけで300万円の予算を計上した。内容について伺う。
②地域振興となる事業を盛り込むべきだと思うがどうか。

村長 ①8月13日に山の日を記念したイベントとして、登山家を招いての講演や子供から大人が楽しめるようなイベントを予定、また来年3月18日に三頭山の日のイベントとして、森の演奏会や歌手によるコンサート、特産物の販売や食事の提供、記念品の配布等も行う予定としている。
②数馬地域はもちろん、檜原村の地域振興となり、都民の森と檜原村を対外的にアピールする要素をイベント内容に盛り込んでいきたいと考える。

質問 ①平成29年度「都民の森」が自主事業という位置づけで300万円の予算を計上した。内容について伺う。
②地域振興となる事業を盛り込むべきだと思うがどうか。

村長 ①8月13日に山の日を記念したイベントとして、登山家を招いての講演や子供から大人が楽しめるようなイベントを予定、また来年3月18日に三頭山の日のイベントとして、森の演奏会や歌手によるコンサート、特産物の販売や食事の提供、記念品の配布等も行う予定としている。
②数馬地域はもちろん、檜原村の地域振興となり、都民の森と檜原村を対外的にアピールする要素をイベント内容に盛り込んでいきたいと考える。

都民の森の事業で地域活性化を



山崎 源重

議員

都民の森と檜原村を対外的にアピールする要素をイベント内容に

を招いての講演や子供から大人が楽しめるようなイベントを予定、また来年3月18日に三頭山の日のイベントとして、森の演奏会や歌手によるコンサート、特産物の販売や食事の提供、記念品の配布等も行う予定としている。
②数馬地域はもちろん、檜原村の地域振興となり、都民の森と檜原村を対外的にアピールする要素をイベント内容に盛り込んでいきたいと考える。

新交通手段と空家対策について



吉川 洋

議員

①今後も路線バスを機軸にしていく
②空家対策を推進していく

ほしいというのが一番である。先日、自由が丘駅を中心にしたサンクスネイチャーバスを視察した。料金は無料で、どこで手を上げてでも乗降できる。このような新しい発想で武蔵五日市駅までのフリーバス等の導入を検討すべきと考えるがいかがか。
②村は空家対策計画の策定に取り組んでいるが、よりスピード感を持ってやらなければいけないかがか。
村長 ①村では武蔵五日市駅までの公共交通手段としては路線バスのみを想定しているので、武蔵五日市駅までの交通手段としてのフリーバス等の導入は考えていない。
②空家問題については、平成29年度からは、現在村が行っている空き家の案内と内覧希望者等への対応を、第3セクターのめりか檜原へ委託し、担当係と地域おこし協力隊員は、賃貸借可能な空き家の掘り起こしや、空き家所有者との交渉を重点的に行うなど空き家対策を推進していく。

浜中 由造

議員



健康保持・増進のための 施策充実について

血圧の毎日の測定は非常に重要であると認識

①地域に密着した健康づくりの取組について現状及び課題は。
②健康管理の自主的な取組の推進、意識啓発のため「家庭血圧測定事業」として自動血圧計の貸し出し等ができないか。

村長 ①「健康ひのはら21計画」に基づき、健康推進委員を設置、地域での自主的な活動をしていただいている。課題としては、村の実情にあった体制の構築が必要と考える。
②血圧の毎日の測定は非常に重要であると認識しており、血圧計の貸出等は「健康ひのはら21計画（第3次）」策定時に意見を伺い検討して行きたい。

質問 データヘルス計画の作成に合わせて、自ら健康を守る血圧計の貸出事業の推進ができないか。

質問 健康の保持、増進は村民の願いである。生活習慣病等が増加しており、自身の健康管理のため、きめ細かな予防体制の実践と、疾病の早期発見、早期治療までの体系的な健康管理が必要とされる。そこで以下の点について伺う。

福祉けんこう課長 個人ではなく健康推進活動を実施している団体等に貸し出すことにより血圧を測定する意識づけができれば可能であると考えており、事業実施については今後検討したい。

清水 満男

議員



地域おこし協力隊の 今後について

協力隊起業支援制度を創設

村長 ①平成29年度から、在任中から任期後1年の間に隊員が自ら起業するために、必要な費用を最大100万円まで助成する協力隊起業支援制度を創設する予定である。
②重点施策である焼酎製造、遊休農地対策、獣害対策、新たな観光資源の開発等の事業推進に携わっていただきたいと考えている。

質問 ①隊員への新たな支援制度はどのような内容の制度か。
②2月に2名の協力隊員を募集したが、どのような地域おこしを想定しているのか。

企画財政課長 ①檜原村地域おこし協力隊起業支援補助として、隊員が村内で起業する場合に必要な備品、道具等を購入する費用を補助する予定である。
②4名の応募があり2名採用決定。1名は観光振興の関係業務を、もう1名は遊休農地の活用やじゃがいも焼酎の立ち上げ等に携わってもらう予定である。

質問 ①河川や沢における景観整備について
②河川や沢にある倒木等に対する対応策について

村長 ①修景地整備委託や沿道景観作業資金などで景観整備を行っている。今後もエコリズムの推進に向けて、自然環境の保全、景観の整備を推進していきたい。
②災害等が発生する危険がある場所や、ライフラインに影響が及ぶような場所については所有者と協議しながら対応したい。
質問 ①広葉樹について伐採補助金等により整備できないか。
②豪雨等による流木の危険を避けるため、倒木や崩落の場所への対策が出来ないか。

河川や沢沿いの景観整備 について

産業環境課長 ライフラインに影響が及ぶような場所については現状を確認した上で、東京都とも連携し対応を考えたい。調査方法については今後検討したい。

質問 河川や沢の一部では、倒木や崩落の場所や、樹木の手入れがされておらず、

②今後、村では協力隊員を活用する事業をどの様に想定しているのか。

質問 現在3名の協力隊員が、地域に根ざした活動を行っている。任期は最大3年であり、来年3月には2名の隊員が任期を終了する。そこで次の点について伺う。
①任期終了後の協力隊員への支援策について。

清水 兵庫

議員



路線バスの充実を

総合的に検討している

活かした、住みやすい村にするため以下を伺う。

- ① 検討委員会などによる数年先を見据えた会議の開催
- ② バス利用者も会議・行事に積極的に参加できる環境づくり
- ③ 移動手段がバス路線による人が「住むならこの村」であると誇れるものとするための考えについて

村長 ①平成20年から檜原村地域公共交通活性化協議会を設け、最適な公共交通のあり方を総合的に検討している。

② バス利用者を対象とした時間設定はしていないが、今後参加者の状況に応じて会議、行事の時間設定が行われるように努めていく。

③ バス利用者の増加が予想されることから、利便性向上を目的とする調査・研究を行いたいと考える。

教科化される。そこで、教育長として、どのように実施していくのか以下について伺う。

- ① 教科化による評価は、数値化しないようであるが、評価する教師の評価基準をどのように持たせるのか
- ② 道徳授業の意義をどう考えるか
- ③ 小・中一貫教育を実施している村は、この9年間をどう考えるか
- ④ これまで行ってきた道徳教育をどう評価するのか

教育長 ① 評価は、記述式で行う。また、教師の評価基準は、都から示されると考えるが、研修などで、質の向上を図るよう指導し、教員によって考え方の違いが起らないように指導を行っていく。

② 授業は、資料や対話を通じ、一人ひとりが自己と向き合い、考えを深める高い教育効果があるものと考えている。

③ 学年の繋がりを各教員が理解し、学年に応じた指導を行えるよう進めている。

④ 東日本大震災の際に、賞賛されたように、整然と順番を守り、助け合いの心を持ち行動できる点が評価できるものと考えている。

山口 和彦

議員



村の振興策と将来構想について

各事業へ必要な予算を補正対応等により速やかに予算措置していく

理解を得ることが最重要と考え、十年後二十年後を見据えた自然環境の保全に関しての村の位置づけについての説明と、今後重点施策となる主要事業についての将来構想を述べた。

木育に関しては、木材産業推進構想を策定し、木材利用の可能性を考える。

エコツーリズムは、村に潜在する観光資源に光を当てる。

山づくりは、魅せる山づくりと、短いサイクルで換金できる樹種の植栽による自立を目指した林業への転換を図る。

じゃがいも焼酎の製造は、国の構造特区による規制緩和を追い風にスピード感を持って、関連事業の進捗を図っていく。

各事業への対応は、必要とされる時期に必要な予算を補正対応等により速やかに予算措置し、事業展開していく。

質問 小池都知事との意見交換会の中で説明した、木育、エコツーリズム、山づくり、じゃがいも焼酎製造等、今後の事業構想についてどのように考えているか。

村長 大局的な見地から、檜原村の行政経営について知事の

質問 村は「人は住みたくなくなるむらづくり」として、生活関連の充実を図るとし、その中に生活交通関連もある。高齢化率が48%を超え、移動手段を路線バスに頼る人も少なくない。今後、免許返納などによる利用が増えるものと考えている。路線バスを

質問 平成30年度から小学校で31年から中学校で、道徳教育が

道徳教育の教科化について

学年に応じた指導を行う

点か評価できるものと考えている。

ドローンを用いた今後の行政施策の可能性について

村の地域特性を考慮し適切な時期を見定め事業を展開していく

質問 ①現時点における村のド

ローンに対する考え方について
 ②将来的に農林業や福祉施策などの分野にドローンを用いた施策が可能と考えるがいかかがか

村長 ①今後ドローンの技術の成熟と関連法制の整備の進捗状況に注意しつつ、村にとってドローンの優位性を発揮できる事例を選別し、具体的な事業を展開していく。

②山林火災の延焼状況、土砂災害の被害調査、災害地への資材運搬、有害鳥獣の追い払い、橋梁点検等の施策展開が可能と考える。

質問 ドローンを使用した有害鳥獣追い払いを、早期に実施して欲しい。

企画財政課長 ドローンの力を必要とするものが何なのかよく見極めて、ドローンの各種の実証実験の結果等を参考にし、事業実施の可能性について考えていく。

中村 賢次

議員



高齢者に対する生活交通 関連施策について

やすらぎの里、役場間の新たなサービスの可能性について
調査研究

村長 ①路線バスとデマンドバスの公共交通と高齢者への移送サービス並びに各種補助制度の活用により、生活の足の確保を図っていく。

②新たなサービスの可能性について村関係部署の連携による調査研究を行わせる予定。

質問 やすらぎの里、役場間を自由に往来できる循環型の交通システムを構築することはできないか。

企画財政課長 団塊の世代が75歳以上になる2025年を見据え、行動的で活動的な高齢者がバス利用者になることを念頭に、生活交通手段の確保という観点から村の主要な施設を気軽に利用できる効果的な方策を今後調査研究していきたい。

質問 ①高齢者に対する生活交通関連施策の現況と、今後の方向性について。

②バス以外に交通手段がない高齢者等が、やすらぎの里や役場、ミニスーパー等を利用するときの利便性を向上するシステムは考えられないか。

峰岸 茂

議員



生活道路のさらなる 整備と促進について

村の様々な要望を東京都に優先順位をつけて進めて
いただいている

測量、用地測量、用地協議の後に工事を実施する予定と聞いている。

②現在、吉祥寺滝の対岸整備を行っており、吉祥寺滝上流、日本碎石の事務所付近を経由する二つの橋梁の架設など整備を行う予定と聞いている。

③藤倉小先の人家付近まで車両通行ができるようお願いしている。

④平成30年度に未舗装部分とガードレール等が、平成31年度にはその他の整備が行われ事業が完了予定と聞いている。

質問 北谷を走る都道205号線の一部区間の道路は道路幅が狭く急カーブのため早期に改修願いたい。

産業環境課長 道路幅が狭い場所については東京都と相談し、今後の要望活動について検討して行きたいと考える。

質問 ①秋川南岸道路の建設計画について

②本宿地内新設3橋の工事進行状況について

③都道205号線の整備促進の内容について

④入間白岩林道の整備状況について

質問 早期促進のためには村議会、地域住民の代表が一体となった促進協議会等を立ち上げ、東京都へ要望することが早期改修・促進につながると考えるが、

産業環境課長 協議会等の立ち上げは、今後その必要性について検討を考えた。

村長 ①平成28年度以降、路線

秋川流域議員大会

去る2月10日、五日市地域交流センターにおいて秋川流域3市町村の「議員大会」が開催され、7名の議員による意見発表が行われました。

檜原村からは、吉川洋議員、清水満男議員が発表を行いました。

その内容を要約してご報告いたします。

秋川流域ジオパーク構想について

吉川 洋



秋川流域ジオパーク構想は、あきる野市、日の出町、そして檜原村の3自治体が数年前から取り組み始め、関係住民も「あきりゆうジオの会」というのをつくった。私も今、その会員になっている。ジオパークのジオ

とは、地球とか、地学の意味で、それにパーク（公園）が結びついてジオパークとなっている。秋流ジオは各地域の天然資源や歴史的文化を発掘して国の日本ジオパークに登録することが目標である。日本ジオパークには現在、南アルプス、下仁田、天草、桜島など日本の43地域が登録されている。檜原村では神戸ポイントの対象になると考えられる。

今回の私の意見発表は東京で唯一の檜原村の風穴のことである。風穴というのは春になっても雪が溶けない山の自然の冷蔵庫で、明治時代にはそういう場所に石組みの小屋をつくって、お蚕さんの種をそこに貯蔵していた。群馬県の下仁田の荒船風穴は世界遺産になっている。現在、日本各地の風穴の利用は、

風穴の中にお酒を冷蔵して〇〇風穴酒とか、漬け物などを保存して△△風穴漬け物とかの地場産業や観光ルートの中にジオサイト・スポットという形でやっているところもある。私たち3

自治体の議員も行政や住民と共にジオパークの登録を目指して一緒にやっついていこうではないかという意見です。

信用（頼）されることの大切さ

清水 満男



会社に勤めていたとき体験した話をさせていただきます。大手電機メーカー退職後アルミ鋳物の中小企業に就職しました。

当時は納期優先で価格、品質は二の次でした。その後、国の援助により大手電機メーカーで大型のコンピュータの開発が始まり、厳しい品質が要求されるようになり、全社挙げて技術の向上を目指しました。品質も向上し大手メーカーの信用も上がり、受注できました。このとき信用される事の大切さを感じました。

その頃、新幹線の高速化に伴い車体の軽量化を図るため、駆動装置のギアケースのアルミ鋳物の試作が始まり、最高レベルの品質が要求されました。再三の試作のたび技術の向上を図りましたが量産は大手企業に独占されました。理由は品質にはまだ信用が無いからとの事でした。

3年後ぐらいに東北新幹線の試作の話があり、品質、価格、納期を徹底して管理し、量産の受注をする事が出来ました。さらに、この受注がきっかけで、新幹線の台車部の軸箱部を新幹線製作メーカー全社から受注する事が出来ました。この時信用、信頼がいかに大切であるかを感じました。中小企業が存続していくためには、第一に信用（頼）、企業の特異性を創る。品質、価格、納期の3原則を常に追求することで、安定した仕事の獲得が出来ます。

議員となり2年となりましたが更なる信用（頼）を得るため努力したいと思えます。

編集後記

編集委員会で協議して、今回の議会だよりの表紙は4月18日に檜原村総合グラウンドで行われたドローン（Drone）の実証実験にしました。当日は議会議員や行政、消防、警察など多くの関係者が立会いました。ドローンとはオスの蜜蜂を指す英語ですが、コンピュータ制御により災害対策や森林資源の調査、物資の運搬等々の多様な可能性があります。ドローンや無人自動車など昨今の技術改革には目をみはりますが、それに伴う調査や条例整備など議会の役割はますます重要になってくると感じました。私たちの議員任期も2年を切りましたが、更なる住民福祉の向上のために先進的な議会改革を推進できるのか、今後の議会や議員の真価が住民から問われていると思います。（吉川）

- 委員長 峰岸 茂
- 副委員長 清水 満男
- 委員 浜中 由造
- 委員 吉川 洋